くも合戦

# かじき

広報

題字　宇都宮町長

No.396
昭和62年
10月号

発　行　加治木町
編　集　総務課

## 菊人形

菊人形で見栄えがするのはやはり武将やお姫さま……。

ところで、あの見事な菊人形はどのようにして作るのでしょうか。人形の体は、竹ひごを、わらで巻いて親指くらいの太さにし、それで、体の線を作り、さらに檜の葉を全身につけてふくらみを出します。菊は土から掘り上げて、水にひたした水ごけで根を包むのだそうです。

昔は菊作りというと、ご隠居さんのイメージでしたが…。

十月は「高年齢者雇用促進月間」です。

活力ある社会を維持するために、国民みんなが、高齢者の仕事に理解をもちたいものです。

“わかちあう幸せ” 10月1日から共同募金が始まりました

◈人口23,530人(＋50)　男11,058人(＋36)　女12,472人(＋14)　世帯数 8,031(＋13)　62.9.1現在(　)前月比

# 六百四十二人に敬老金を贈呈

## 町敬老金等贈呈式・合同金婚式

多年にわたり社会に尽くしてこられたお年寄りを敬愛し、長寿をお祝いする「敬老の日」を前にした九月十日、町敬老金等贈呈式と合同金婚式が福祉センターで開催されました。

町内の八十歳以上の敬老金対象者は、九月十日現在六百四十二人で、宇都宮町長は、今年八十歳を迎えられた南塩入の川嵜貢さんに敬老金証書を手渡し「いつまでもお元気で」と長寿を祝福しました。

また、九年以上もの長い期間にわたり寝たきり老人等の介護をされている関あけみさん(空港団地)をはじめ三十一人のかたがたに、その労苦をねぎらい記念品が贈られました。

この後、合同金婚式が行われ、五十年間苦楽を共にして来られた二十八組の御夫婦が金婚の杯をくみかわし、互いの長寿を喜び合いました。

金婚式を迎えられた御夫婦は、次のかたがたです。(敬称略)

濱田兼春・幸子 (岩原東)
高橋初次郎・ハギ (岩原東)
天利　勇・靖子 (西塩入中)
岡元成穂・よしゑ (江　湖)
永井　準・ヨシ (於　里)
鈴木一男・イク (柳　田)
新納教義・哲子 (柳　田)
有島三男・ケサ (徳　永)
徳永時夫・トミ子 (徳　永)
久保田　栄・イク (菖蒲谷上)
入部国雄・テルミ (里ノ下)
宮内　静・フミ子 (鶴　原)
松葉瀬義彦・コト (東諏訪)
猪目森義・トミ子 (札　立)
郡山徹志・安枝 (須　崎)
有村　進・スナ (中　野)
今村鉄枝・キヌヱ (吉　原)
前田武夫・澄子 (下　浜)
緒方正吉・シゲ (長　谷)
上村　登・ヱイ (長　谷)
内村光夫・ハル (市来原)
榎田美義・フミユ (楠　原)
山神仲次郎・スキ (蔵王団地)
岩崎貞二・キワ (高井田)
新山清蔵・多賀 (高井田)
垣内　操・トミ (宮田ケ平)
武田政治・ヒテ (今　町)
小濱末雄・國枝 (西諏訪)

敬老金証書を受ける川嵜さん

## 米寿記念に灯ろうを寄贈

### 西ノ原の澤崎豊二さん

西ノ原の澤崎豊二さん(八七)が九月二十一日地区内にある伊勢神社に白みかげ石造りの「八尺(約二㍍五十㌢)の灯ろう」を寄贈しました。

澤崎さんは、大正七年、二十歳の時に海軍に志願。神様のおかげで種々の危険を逃れてきたことの恩返しにと米寿を迎えるのを機に、〝奉納〟されたものです。

澤崎さんは、今でも耕耘機を使って農作業をされるほどお元気で、この日も、自らスコップを握り、作業を手伝っていました。

澤崎豊二さんと灯ろう

《先月号の番付に誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。》

横綱　野口伊四郎(九六)　望岳園
大関　立元金之助(九六)　垂ノ口
関脇　川崎清二(九四)　柳田
小結　榎田喜太郎(九四)　楠原
前頭　川添　新(九三)　日木山黒川
前頭　庄村常三(九二)　今町

〈男〉

前頭　東川内為二(九二)　川内
前頭　大村清蔵(九二)　下新道
同　中山敬二(九二)　菖蒲谷下
同　榎谷　清(九一)　丸岡
同　山口吉次(九一)　下嶽
同　井手向栄蔵(九一)　井手向
同　安田富義(九一)　岩原西
同　比志島直義(九〇)　萩原
同　宮内政雄(九〇)　下浜
同　溝口時義(九〇)　桑迫
同　大宮路重助(九〇)　辺川下
同　水口周太郎(九〇)　望岳園

## 慶祝　九十歳以上の長寿番付

六十二年九月十五日

〈女〉

横綱　川畑トモ(九七)　望岳園
大関　山内テル(九六)　札立
関脇　曽木ヒデ(九六)　柳田
小結　森木イト(九五)　桃木野
前頭　高木モヨ(九五)　望岳園
前頭　川元キシヨ(九五)　高井田
同　松下アグリ(九五)　小陣
同　大園フデ(九四)　下浜
同　宮崎スエ(九四)　西反土後
同　岩下ヒデ(九四)　竹下
同　園田ヤヘ(九三)　望岳園
同　松下クサ(九三)　望岳園
同　重森ケサミツ(九三)　反土黒川
同　小門口モト(九三)　望岳園
同　谷口ケサチヨ(九二)　里ノ上
同　小林ツル(九二)　柳田
前頭　湯口フク(九二)　望岳園
前頭　墨アサ(九二)　札立
同　久保ヒデ(九二)　田中
同　坂元ケサノ(九二)　宮田ケ平
同　恒森クラ(九二)　西反土後
同　吉野ヨ子(九一)　岩原西
同　大迫イツ(九一)　下浜
同　北薗君(九一)　中福良後
同　本田チヨ(九一)　望岳園
同　山元ケサ(九一)　望岳園
同　大山マス(九一)　望岳園
同　福元ミ子(九〇)　高井田
同　林ミ子(九〇)　萩原
同　新納キヨ(九〇)　端山
同　四元アキ(九〇)　向江町
同　小浜ワカ(九〇)　東塩入
同　杉田テル(九〇)　須崎
同　渋谷シヨミツ(九〇)　下東木
同　坂元タメ(九〇)　宮田ケ平
同　斉藤キク(九〇)　望岳園

# 神宮秀利さんら4人を表彰

## 第9回 町社会福祉大会

第九回町社会福祉大会は九月二十七日、身障者や愛護会員、保護司会員、民生委員、母子寡婦会員、老人クラブ会員など二百人あまりが参加して、町営体育館で開催されました。

大会では、町愛護会の役員として十年の長きにわたり障害者の福祉向上と会の発展に尽くしてこられた神宮秀利さんをはじめ、福祉の向上に努めてこられた四人のかたがたに、宇都宮町長から表彰状が贈られました。

表彰を受けられたかたがたは、次のとおりです。（敬称略）

神宮秀利（須崎）▽大迫豊蔵（江湖）▽湯川武雄（弥勒）▽持留みや子（南塩入）

「落とさないでね…」

表彰を受けられた大迫さんと持留さん

## 二十一種目に熱戦

### 福祉スポーツ大会

第九回社会福祉大会に引き続きスポーツ大会が町営運動場で行われ、身障者や高齢者などが、八十㍍競歩や、親子リレー、関所やぶりなど二十一の種目に熱戦を展開し、さわやかな汗を流しました。

スポーツ大会は、吉留純行・愛護会会長の力強い選手宣誓の後、身障者による八十㍍競歩や婦人の八十㍍競争、ボーリング大会など子供からお年寄りまで楽しめる競技が次々に行われました。

第六回の「落さぬように」ではラケットの上に乗せたテニスボールが落ちないよう悪戦苦闘する姿に、会場からは笑いと盛んな拍手が沸いていました。

# おもと百三十六鉢を展示

## 加治木らん・おもと会

加治木らん・おもと会（西清文会長、会員五十四人）主催の第七回展示会が九月二十七日、性応寺で開催され、大勢の愛好者の目を楽しませました。

これは、会員相互の交流と技術の向上を図ろうと、毎年開催しているもので、会場には、会員が丹誠を込めて育ててきたおもと百三十六鉢と、らん・盆栽二十四鉢が展示されました。

審査の結果は、次のとおりです。

**総合優勝**…「外輪山」上別府明広

■おもとの部

**優　勝**…「外輪山」　上別府明広

**準優勝**…「児玉残雪」　土持　力

■らんの部…**優勝**「日向（蕙蘭）」片岡美与二▽**準優勝**「長晃殿（春蘭）」西　清文

丹誠を込めたおもとを展示

# わたしの見た 加治木町《4》

## “名実共に兼ね備えた文教の町に”

NTT加治木電報電話局
地域コミュニティ室長　牧　健

鹿児島市から移り住んで半年過ぎましたが、降灰が少なく緑が鮮やかで静かな落ちついた街で、また、仕事がら町内の色々な人とお付き合いをさせて頂いていますが、皆人情豊かで、本当に住みやすい所だなというのが加治木の印象です。

さて、加治木町は鹿児島のベットタウン化しつつある姶良町、テクノの町と↘↘して発展しつつある国分・隼人、また、鹿児島の空の玄関として活気を保っている溝辺町などに囲まれ「加治木谷間論」が取りざたされていますが、これからの取り組み次第で他の町に負けない発展の可能性を秘めているのではないでしょうか。

それは、加治木町が海・山・温泉・国道・高速道↖路、鉄道、そして前に桜島、後ろに空港、更に鹿児島市への通勤圏と有り余る地理的好条件に恵まれているからです。

商工会や町当局が、三万人達成運動に取り組んでおられ、更に加治木町の未来を語る会により今後の町の発展の行く末が論じられるそうですが、住民の一人として、これまでの文教の町としてのたたずまいを生かした町づくりを進めてもらいたいと思っています。

そのためには、学校等教育機関などの誘致もさることながら、コンサートホールや美術館等の文化施設を充実し、名実共に兼ね備えた文教の町づくりが望まれるのではないでしょうか。

いずれにしましても一町民として町発展のために微力ながらお力添えしたいと思っている次第です。

☒プロフィール

昭和27年に入社。鹿児島・熊本両県を任地とされ、今年2月、加治木に赴任された。

自慢のさつき35鉢の手入れが趣味で「加治木は降灰が少ないのがいい」とか……。

スポーツは、軟式テニス、ソフトボール、野球など何でもこなす万能選手でもある。

# まちのわだい

## 救急救護訓練を実施

### 姶良郡西部消防組合

姶良郡西部消防組合では九月十二日〝錦江会館前の路上でマイクロバスと大型バスが正面衝突し、多数の負傷者が出た〟との想定で、初めての集団災害事故救急救護訓練を実施しました。

この日は、救急隊員ら八十五人と救急車・消防車など九台が、一一九の通報を受け出動。マイクロバスに閉じ込められた運転手を救出する訓練や、大型バスの負傷者（加治木女子高等学校の生徒）を救急車で病院へ搬送する訓練、マイクロバスからの火災発生を想定した消火訓練などがてきぱきとした動作で行われました。

## 三角巾（さんかくきん）の使い方などを学習

### 加治木小学校の５・６年生

加治木小学校の五・六年生が九月九日、姶良郡西部消防組合の救急隊員を講師に迎え、救急業務等について学習しました。

これは「救急の日」の行事として実施したもので、隊員から救急車の呼び方などの話を聞いた後、三角布（さんかくきん）の使い方などを熱心に学習していました。

## 加治木なんでもランキング（その４）

### 製造品の出荷額は二十一位

### 百二十三億四百九十三万円

町内の工場で、昭和六十年中に生産された製造品の出荷額は百二十三億四百九十三万円で、県内では栗野町に次いで二十一位となっています。（工業統計）

上位の市町村を見ると、第四位に〝南畜（なんちく）〟のある末吉町（五百三十五億五千万円）が、八位には〝鹿児島松下電子〟のある伊集院町（三百六億八千万円）が、また、九位には〝日本特殊陶業〟が立地している宮之城町（三百一億六千万円）などが、それぞれ顔を出しています。

ちなみに、町村だけで見ると第九位となっています。

## 交通安全の決意を新たに

### 姶良西部地区総ぐるみ大会

決意を新たにして、地域ぐるみで交通事故防止運動を強力に推進していこうと、第十三回交通安全姶良西部地区総ぐるみ大会が九月十一日、福祉センターで開催され五百人あまりが参加しました。

大会では、柁城小学校の吉国くららさん（六年）をはじめ四人が子供・運転者・婦人・事業所のそれぞれの立場から交通事故防止を訴える意見発表を行った後、「自ら交通ルールを正しく守り、事故の撲滅を図る」「老人、子供及び身体障害者等の通行をみんなで守り、すすんで誘導する」「暴走運転、飲酒運転の絶滅のため、みんなで力を合わせ厳しく監視する」「シートベルト・ヘルメットは、正しく着用する」など四項目を実践していこうという宣言を全員で採択しました。

# 肉用牛など五十七頭を審査

## 町畜産品評会

町畜産品評会は八月二十八日、鎮守小学校跡地で開催され、馬二頭を含め肉用牛など五十七頭が出品され、審査を受けました。

品評会では、発育の状況など慎重な審査が行われ、優秀と認められた肉用牛四十九頭、肉牛六頭、馬二頭が、郡の畜産品評会に出品されました。

成績は、次のとおりです。

■団体成績

肉用牛の部…**一位**木田▽**二位**辺川

肉牛の部…**一位**木田▽**二位**小山田

■個人別成績（最優秀）

**肉用牛一部**…末吉キミ子（小山田）▽藤野国明（小山田）▽隈原秋男（西別府）▽内村重行（小山田）▽大脇久雄（木田）▽山口住弘（西別府）▽大宮路誠（辺川）

**肉用牛二部**…有馬義則（木田）▽垂水純夫（木田）▽中野敏子（辺川）

**肉用牛五部**…垂水純夫（木田）▽小宮路政一（辺川）

**肉用牛六部**…末吉満也（小山田）▽内村重行（小山田）▽大脇久雄（木田）

**育種・高等登録群**

内村重行（小山田）

**父系群**…隈原秋男（西別府）▽山口住弘（西別府）▽内村幸男（小山田）▽榎谷貞則（西別府）

**肉牛の部（雌）**…高崎光男（小山田）▽市野親義（小山田）▽石原五男（木田）

**肉牛の部（去勢）**

市野親義（小山田）

**馬の展示**…大脇修身（木田）▽榎谷静雄（日木山）

**◎チャンピオン賞（農委会長賞）**

**肉用牛の部**＝末吉キミ子（小山田）

**肉　牛の部**＝高崎光男（小山田）

郡共で第３席最優秀賞に輝く（末吉キミ子さん所有）

最優秀賞を受賞（町品評会）

## 町から肉用牛など12頭を出品

### 郡畜産共進会

第三十七回姶良郡畜産共進会が九月二十一日と二十二日の両日、隼人町の中央家畜市場で開催され、加治木町からは肉用牛十一頭と種豚一頭が出品されました。

共進会には、郡内から肉用牛百三十七頭と種豚四十三頭が出品され、審査の結果、加治木町は肉用牛の部で四位に、また、種豚の部では九位となりました。

個人の成績は、次のとおりです。

■肉用牛若雌二部

**最優秀賞**…末吉キミ子▽隈原秋男

**優秀賞**…藤野国明

■肉用牛若雌三部

**最優秀賞**…有馬義則

**優秀賞**…垂水純夫

■父系群の部

**最優秀賞**…隈原秋男▽山口住弘▽内村幸男▽榎谷貞則

■育種・高等登録群の部

**優秀賞**…内村重行

■種雄豚の部…**優秀賞**　日高末利

## 家族で話そう交通安全 ⑬

交通遺児救済のための〝励ます会〟がつくられて満二十年。この間、多くの交通遺児が「高校進学」の夢を果たした。

遺児たちの進学を根底で支えたのは、さわやかな学生の情熱と通りすがりの人々のさりげない愛でした。それでも、五十四年春、インフレで教育費は高騰し、育英会の台所は底をつく。

これを救ってくれたのが、教育里親「あしながおじさん」だった。どこかの誰かが、どこかの誰かに、卒業までの三年間、そっと奨学金を贈り続ける〝陰徳の人〟である。

### あしながおじさんこそ人生の師

このあしながおじさんの愛は二つの大きな成果をもたらす。

まず第一に、大ざっぱに計算しても、交通遺児約四千七百人を高校へ進学させたこと。

第二は、あしながおじさんの〝無償の愛〟が、かたくなな遺児の心を開かせ、遺児たちは恩返しとして、あしながおじさんからいただいた愛のたいまつを他人に伝え、社会に拡げる運動に立ち上がったことである。

父の死後、親戚や世間の冷たい風に打たれ、すっかり他を寄せつけなくなっていた遺児の心は、名も告げず、そっと支援し見守ってくださる真の愛の姿を知り、感動し、素直に感謝する心を取りもどしていく。自分だけが不幸だと嘆いていたのが、あしながおじさんの多くも若いころに進学できなかったり、さまざまな不幸を背負いながら頑張っておられるのを知って、遺児たちは奮い立つ。お金持ちが同情で恵んでくれるのだと思っていたのに、パートで働いたお金を月三千円とか、テレビも買わずに送金されている事を知りあしながおじさんの真心に泣く。

あしながおじさんの愛は、交通遺児に人間のあるべき姿を無言で諭し、遺児たちは愛を拡げ世直し運動へと発展させている。

あしながおじさんこそ遺児にとって人生の師である。参加いただいた多くのあしながおじさんに深い感謝と敬意を捧げ、新たに遺児たちと共に愛のたいまつをもってくださるあしながおじさんが一人でも多く参加いただけることを期待します。

（「交通遺児育英会のあゆみ」より抜粋しました。）

サッカー

## ユニバーシアード大会で活躍

### 池之上俊一さん

将来はオリンピックも…池之上選手

小陣の池之上健二さんの長男・池之上俊一さん（大阪商科大学三年）が、日本代表に選ばれ、七月五日からユーゴスラビアで開催されたユニバーシアード大会に出場し試合の重要な鍵を握るミッドフィルダーとして活躍されました。

池之上さんは、日本サッカー協会の平木隆三技術委員長から「日本で最高のプレーヤー」と評価を受けるほど、スピード、瞬発力、ドリブル突破力とも抜群の選手。好パスを配球するなど、日本代表の中心的役割を果たされました。

大会では、見事な状況判断から

父親の健二さんは「小さな町からでもやればできるんだという事を示し、サッカーをやっている子供たちの夢につなげて欲しい」と話されました。

## 十二チームが熱戦を展開

### 第三回レディース・バレーボール大会

優勝をめざして

第三回レディース・バレーボール大会が、九月二十日町営体育館で開催されました。

これは、加治木郵便局が、地域とのコミュニケーションを図ろうと毎年開催しているもので、大会には昨年を上回る十二チームが参加し、熱戦が展開されました。

結果は、次のとおりです。

■Aクラス

**優勝**加治木スポーツ▽**二位**竜門

■Bクラス

**優勝**錦江フレンド▽**二位**カトレア

ゴールデンロードランプル

## 金山道漫歩 16

### 孝子頼山陽 竜門司坂を行く

頼山陽（一七八〇～一八三二）は、広島県安芸の人で、父・春水は藩儒であった。山陽は若いころ、手のつけられない放蕩者であったため、十八歳の時、江戸の尾藤二州に預けられ、ここで学問に熱中しずばぬけた才能を発揮した。三十二歳で京都に塾を開き、多くの子弟を育てた。

格調高い山陽独自の風格をもつ詩・源平以来の武家の興亡を記した歴史書「日本外史」二十二巻は、二十年の歳月を要した大作で、尊王攘夷運動の勃興に大きな影響を与えたのである。

三十六歳の時父・春水が病死してからの山陽は、後に残った母に対して、亡き父の分まで併せて孝養を尽すのです。待興の歌に「余、藝に到りて留まること数旬、将に京寓に帰らんとし、遂に母を奉じて偕に行く」興行けば吾も亦行く、……の詩は、故郷へ帰って母をかごに乗せて自分は徒歩で従いながら、あの町この町、いわれのある山や川など、こと細やかに説明して行く山陽の孝子ぶりが髣髴と浮かんできます。そして京都に着いたある日、母を奉じて嵐山に遊ぶ「最も忻ぶ母と衾枕を同にし連夜香雲暖かき処に眠る」など久しぶりに母と共に眠ることの悦びが詩に横溢しています。また、頼山陽の詩には「鞭声粛々夜河を過る」などすぐれた書画により当時の人々の賞讃を博しその名は全国に知られた。

鹿児島より夜船で加治木に行く

文政元年、三十九歳の夏、九州を旅行し、八月二十三日長崎を出発して熊本三角行きの船に乗ったが、千々岩沖で暴風にあい近くの小島に避難し「雲か山か呉か越か、水天髣髴青一髪…」の詩は、スケールの大きさに一大パノラマを見るような実感が湧いてくる。

やがて薩摩路に入った山陽は九月九日川内大小路の永井瀬兵衛宅に泊り、鹿児島城下に二十日滞在する（前兵児の謡を作る）九月三十日、夜船で加治木に着き、曽木氏宅に寄り、札立を経て竜門司坂を越え、犬童氏宅に一泊する。十月一日早朝、十三塚原にさしかかったころ、眼下に広がる錦江湾、雄大な桜島そして加治木の村を眺望しながら「暁に都門を出でて故郷に向う、草陰独り蟲声を聴くこと長し、農夫露を犯して耕耘急なり、賈客星を載きて往来忙し、宿霧晴る、時山岳を見る、炊煙生ずるところ村荘を認む、踵を返す幾度多年の路、風雪暑寒夜亦行く」名作律詞を栗野町幸田市来氏のところに残して大口に向った。

加治木郷を望み詩を作る

文 松田 繁美
絵 新福 貢

# 熱戦スポーツニュース

## 竜門地区が優勝

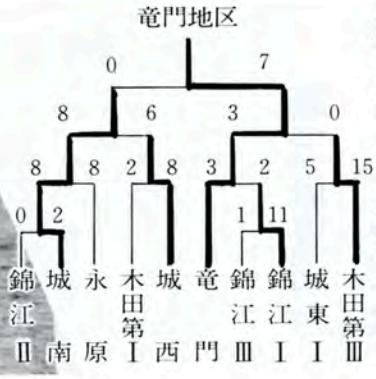
### 地区対抗・青壮年ソフトボール大会

地区対抗・青壮年ソフトボール大会は八月三十日、町営運動場で開催され、練習を積んできた十三地区の選手が、地区民の盛んな声援を受け、熱戦を展開しました。

結果は、次のとおりです。

**優勝**…竜門地区▽**二位**…城南地区

**三位**…城西地区・木田第三地区



熱戦を展開

## Aクラスは加治木スポーツ Bクラスはハッピーコスモ が優勝

### 町ナイター婦人バレーボール大会

町ナイター婦人バレーボール大会が、九月七日から十八日まで、五日間の日程で、町営体育館で行われ、連日熱戦が展開されました。

大会には、Aクラス五チームとBクラス八チームの十三チームが出場。決勝戦は九月十八日行われ、Aクラスでは加治木スポーツが、また、Bクラスではハッピーコスモがそれぞれ優勝しました。

結果は、次のとおりです。

■Aクラス

**優勝**…加治木スポーツ

**二位**…竜門▽**三位**…柁城

■Bクラス

**優勝**…ハッピーコスモ

**二位**…カトレア▽**三位**…双葉

Aクラス優勝の加治木スポーツ

Bクラス優勝のハッピーコスモ

## 竜門子ども会が優勝

### さわやか少年ソフトボール大会

第十回さわやか少年ソフトボール大会が九月二十日、加治木中学校グラウンドで開催されました。

これは、町子ども会育成連絡協議会が、ソフトボールを通じ、子ども会どおしの交流や、異年齢集団の中で助け合う心を培おうと、南九州コカ・コーラボトリング㈱や、町ソフトボール協会の協力を得て毎年実施しているものです。

大会には、十三チームが参加し秋晴れの下、熱戦が展開され、竜門子ども会が優勝しました。

結果は、次のとおりです。

〔決勝戦〕

竜門子ども会　2460×12

城南子ども会　00100　1

▽三位…みろく子ども会

木田第三地区子ども会

打った，大きいぞ……

## 全国大会に出場

### 加治木町青年団

加治木町青年団（内村昭敏団長、団員十二人）が、第三十六回鹿児島県青年大会・バスケットボールの部で優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

県青年大会は九月五日と六日の両日、鹿児島市で開催され、バスケットボールの部に出場した町青年団は、日ごろの練習の成果を発揮し、見事優勝に輝きました。

全国大会は、十一月五日から九日まで東京で開催されます。

練習の成果を発揮

# 読者のページ

県立加治木中学校を卒業され、現在東京にお住まいの「宇都宮直賢氏(八九)」から、お便りを頂きました。以下、原文のまま紹介します。

## 宇都宮直賢氏より

広報かじき(八月号)の〝竜門司坂〟を清掃――の記事を拝見し、小生の思い出を寄稿いたします。

小生、小学生時代、小山田の伯父の家(この家は、祖父良左ヱ門直綱の持ち家で、加治木風土記に出ている紺屋殿屋敷)に寄食して柁城小学校へ通学したが、通学路は殆んど竜門司坂(私たちはダッモン坂と言っていたが、加治木風土記によるとダシモン坂が正しいらしい)だった。――学校への距離は約四キロ、児童にとっては、かなりの道程だった――。雨の日や霜のひどい日はつるつる滑って、よく転倒したものだ。

竜門西元五月会の青壮年方、その他もよりの自治会員のかたがたが、清掃に汗を流されし由、心から拍手を送った。この竜門司坂は参勤交代時の街道ということは初聞だったが、私には加中時代父から聞いた次のエピソードがあり、竜門司坂はこの年になっても懐かしい思い出で一杯だ。

私の祖父は西南戦争(十年の役)前、川路利良大警視(帝都の警視総監)のたっての上京、就職の勧告を断り、大西郷に殉ずる腹を決めた別府連合大隊(加治木、重富、国分一帯の士族から編成。西郷軍中最大の大隊)の六番大隊七番小隊長として出征した。――西郷軍は大隊―小隊―分隊編成で、中隊はなかった――。

明治十年二月二十二日、別府隊の熊本城攻撃に当たり、祖父は先頭第一を号して率先陣頭に立ち、法華坂で城兵の集中火を浴びて戦死した。

祖父は剣道の達人で、鹿児島城下の坂口道場の師範代として城下士族たちと剣術の修練に励んでいたらしい。(私は陸軍少尉時代、月刊誌少年世界に連載された〝西郷十勇士〟の最終号に祖父の伝記が掲載されているのを知り、小山田の伯父へ送った思い出がある。)

ある日、小山田への帰宅が遅くなり、夜半竜門司坂を登りつつあったところ、突然、道路わきに妙齢の美人が現われて手招きした。

その姿は暗夜にもかかわらず、余りにも明瞭なので「さては先ごろから通行人を誑している老狐に間違いなし」と判断。鹿児島城下の研屋に依頼した佩刀で抜く手も見せず切りつけたところ、その美人は「ギャッ」と奇声を発して姿が消えたが、祖父は確かに手ごたえがあったと思ったが、不覚にも鹿児島の研屋で受け取った時、研ぎ師が目釘をさしておくことを忘れていたことに気付かず、美人に切り付けた刹那刀身が鍔元から抜けてやぶの中へ飛んでしまったらしい。祖父は暗がりのやぶの中を慎重に手探りで刀身を探し、半時ほどでやっとその抜身を発見した。

翌早朝、再び昨晩の竜門司坂の中途の場所へ戻ったところ、やぶの窪地へくだんの老狐が半身を切られて死んでいたとのことだ。

今日では、ちょっと摩訶不思議な話と思われるが、当時では年老いた狐や狸が摩性の姿となって現われると信じていたようだ。

ちなみに、その佩刀は無銘の南紀重国で(祖父遺愛の二振りの刀の一つで、出陣に当たり留守宅へ遺した)小生、陸軍士官学校卒業時、父から祝いとしてもらい受けた。たまたま、上野黒門町居住の日本有数の刀剣鑑定家・本阿彌光遜先生を訪れ、辞を厚くして刀の鑑定と軍刀に拵えてもらいたい旨お願いしたところ、先生は「これは正真正銘の南紀重国で、天下の名刀です。軍刀拵えなどにせず、末永く家宝にされるべきだ……」と力説されたが、若僧の血気にはやり、ゴリ押しで軍刀にしていただき、比島戦でも佩刀としていた。

敗戦時、降伏調印式に参列のためバギオの米軍司令部へ出頭の際小生らは軍刀と拳銃の提出を求められた。山下大将は「俺の軍刀は昭和刀だから平気だよ」と笑われたが、小生はあたら名刀を敵手にゆだね、本阿彌光遜先生の御忠告を思い出したが、正にツー・レイトだった。

私は終戦直前の七月、軍司令官の命令で第一線の兵団長の作戦指導ぶりを視察し、所要の指示を下達するため、警備兵数名を連れて出掛けた。激しくなった敵の砲弾を避けるため夜半帰途についたが、迫撃砲弾が盛んに進路の左右に落下している急坂を登りつつある時ふと足を滑らした途端、何らかの原因で軍刀の刀身が鞘から抜けて斜面の下へ勢いよく落ちて行った。

私は、神明の加護を念じながら急な斜面を降りて行き刀身を探したところ運よく木間を漏れる月光に光る刀身を見つけた。

その時私は、昔、父に聞いた祖父のダシモン坂の一幕を思い出し奇しき銘刀〝南紀重国〟の因縁を思った。

## 蔵王嶽登山と山坂達者

札立　宝蔵　保

去る八月十四日、小学校六年生の孫と蔵王嶽に登った。

加治木町のシンボルであり旧制加治木中学校の校歌や、町民歌にも歌われている。

項上には、日の丸の国旗がへんぽんと翻って頼もしい。

孫は数回登っているが、この年(七十六歳)になるまで登る機会に恵まれず残念に思い、何時も一度は登って見たいとあこがれの的であった。

幸い孫が勧めてくれて、二人で喜び勇んで登った。

杉林の中央をまっすぐ登る。六合目までは軽々と登れるが、七合目からは直立した岩の間をよじ登らなければならない。下を見れば怖い。

木の根や小木を伝って、相当に困難な胸突八丁を登りつめた。立派な国旗掲揚台がコンクリートで造られている。

水や材料を項上まで運搬されての作業、大変な苦労であったろうと敬服する。

項上からは町全体が眼下に見下ろされ、眺望絶佳。涼風に吹かれ気宇壮観、最高の気分である。

青少年の浩然の気を養い、足腰を鍛え、山坂達者の養成にはもってこいの山と思う。

◇　◇　◇　◇

この玉稿は、町文化協会員の宝蔵保氏から頂きました。

**今月は町県民税・固定資産税(三期)の納期月です。**

# 献血協力者六人に有功章

## 大塚泰文さんは五十回

有功章を受賞されたかたがた

献血運動に協力されている大塚泰文さん（吉原）に金色有功章が、また、宮永千鶴子さん（蔵王団地）ら五人に銀色有功章が、県赤十字血液センターから贈られました。

有功章の伝達は、九月二十五日町長室で行われ、宇都宮町長が、「今後とも御協力を」と、有功章を手渡し、労をねぎらいました。

■金色有功章（五十回）
大塚泰文（吉原）

■銀色有功章（三十回）
宮永千鶴子（蔵王団地）▽池田憲晃（西反土前）▽長丸雄二（東吉原）▽室屋和孝（西塩入下）▽犬童実（下東木）

# 献血協力団体表彰を受賞

## 南九州コカ・コーラボトリング㈱

事業所総ぐるみで献血運動の推進に取り組んでいる南九州コカ・コーラボトリング㈱鹿児島工場が、献血運動推進協力団体として、加治木保健所長表彰を受けました。

南九州コカ・コーラボトリング㈱鹿児島工場（長友統工場長、従業員八十四人）では、昭和四十二年ごろから、毎年、多数の献血協力者の確保に努められており、県民の保健衛生の向上に貢献されてきた功績が高く評価されたものです。

表彰式は九月九日、加治木保健所で行われ、土屋高夫・加治木保健所長から、長友統工場長へ手渡されました。

表彰を受ける長友工場長

# 毒草

## センニンソウ

山野、路傍、田や畑のあぜなど、日当りの良い所に生えるキンポウゲ科のつる性多年草、自生場所により、常緑の場合もあります。八、九月ごろ純白ながくが十字形に開いた花が群がり咲いてよく目立ちます。花後、白くて長い毛をつけた果実を結び白毛を仙人のひげに見立ててこの名前がつけられた。

家畜の飼料に交じっても、家畜は絶対食べませんが、誤って食べたら牛馬の歯が抜けるので鹿児島では「ウマノハオトシ」といいます。

扁桃腺炎や風邪で高熱が続く場合、生葉をすりつぶし、小豆大に丸め、手首の内側（脈をとる付近）に五分間ほどはりつけます。やがて、徐々に熱がさがります。

前途のとおり誤食すれば毒性が強く、口中がやけつくように熱く感じ、腫れあがり水ぶくれができます。胃や腸の粘膜がただれて苦しみ、便に血が混じるといわれます。

毒草には虫はつきませんが、薬草の森では、センニンソウに五、六ミリの白い虫がつき葉を全部食いつぶした例があります。

この仲間にボタンヅル、ハンショウヅルがありますが、主幹に対生する葉柄が真横に着くのが特徴です。庭に植えられるテッセンやカザグルマも同じ仲間で、いずれも有毒です。

漢方では、同属の植物の根を乾燥したものを威霊仙と呼んでいます。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮ください。

# 壱門の会

いささかの拘り残る墓洗ふ　三浦　ゆう

祖父が駆け子が駆け路地の捕虫網　古江　重美

露けしや地賞辞世の句となりし　川崎　黒兎

人影の失せて晩夏の海疲る　内田美津代

頽齢に越え難き夏過ぎむとす　鶴田　耕

蟬挽歌焼香の列続きをり　恒吉　斗南

返り梅雨陶土を囲ふ小屋暗し　竹山　洋子

板の間の妻が竹踏む秋暑かな　柳田　稔

溝蕎麦に行くてはばまれ子等の舟　上野　光

昼寝覚め竿竹売りの声ゆきし　佐々木かすみ

羅漢槙梢飾りて凌霄花　高木　正男

筆ほどに成れば供へぬ曼珠沙華　加藤　白柳

## 心配ごと相談

■毎週木曜日・午前中

■福祉センターで

お気軽に御相談ください。

# お知らせ

## 緑のオーナーを公募中です

加治木営林署では、育成途上のヒノキについて、成林するまでの間（二十年程度）、共同で育てる契約を結ぶ制度「緑のオーナー制度」の希望者を公募しています。

契約は、一口五十万円（森林保険料を含む）で、国有林に生育する立木の共有者となり、契約で定めた時期に立木を販売して、その売り上げ代金を持分により配分するものです。

六十二年度後期の公募箇所は、次のとおりです。

■姶良郡横川町大字上野字安良山安良山国有林25林班り小班
■ヒノキ二十七年生　六・〇五ヘクタール
■公募口数　二十五口（総口数　五一・九五口）
■募集締め切り　十一月十五日（随時受け付けます）

◎申し込み・問い合わせ先
加治木営林署
電話　六二―三一一一

## 町職員（保健婦）を募集

町では、次のとおり職員（保健婦）を募集しています。

■職種及び採用人員　保健婦一人
■受験資格
(1)保健婦免許証取得者
(2)臨床経験者（三年以上が望ましい）
(3)特に、老人問題に関心のある人
(4)昭和十七年四月二日以降に生まれた人
■試験の日時・場所
十一月二日(月)午前十時～十二時
町役場第二会議室
■試験の方法
(1)作文試験　時間は六十分
(2)面　接
■合格者の発表　六十二年十一月
■受験手続き等
十月二十六日(月)午後五時までに総務課庶務係へ次の書類を提出し、受験票の交付を受けること。
(1)自筆履歴書、身上書（写真添付）一通
(2)保健婦免許証及び臨床経験証明書
■その他
試験当日は、受験票、筆記用具（鉛筆・消しゴム）を持参すること。

## うぶ声

出生児　保護者
緒方　大樹　浩幸　自治会
四本　尚　義一　赤坂
田上　彩夏　博仁　下新道
宮原　大典　英雄　空港団地
武田　博則　俊郎　東諏訪
深町　龍祐　向龍　蔵王団地
右近　孔明　明　赤坂
前田頌二郎　達雄　豊　町
泉　奈津子　裕治　今　町
須崎　岩下　剛　泉
池田　奈月　明彦　柳田
酒匂　里奈　祥司　南塩入
入部　真　正弘　西江口団地
樋口　あや　利昭　垂ノ口
井手上美樹　賢　蔵王団地
向江あずさ　貢　春日団地
種子田　愛　実　岩原西
南迫のぞみ　新一　吉原
寺師　麻衣　美幸　新中
中原　由華　武志　下嶽
▽九月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

## 御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　鶴原　向江フヂ子（夫　清八九）
十万円　柳田　大吉　操（母　ミツ九二）
一万五千円　西塩入下　西山ハツ子（夫昭光五〇）
三万円　蔵王団地　蔵元静良（妻ヒロ子六三）
三万円　中浜　日高ノイ（夫　兼美七四）
三万円　毛上　川上義夫（長男　孝文十六）
二万円　弥勒　横山邦彦（長男　清和三一）
五万円　南塩入　寺迫慶子（夫　一郎五二）
十万円　東諏訪　和田博人（祖父　寛八八）
三万円　弓削　大野正治（父　盛次七八）
五万円　西諏訪　森　義晴（父　隆義七三）
二万円　岩原西　河内ワカ子（父　西田次男　八三）
三万円　岩原東　木下　透（母　草水節夫　八四）
十万円　内原田　迫　力（母　悦子　八〇）
五万円　中浜　野元キミ（夫　繁行八五）
一万円　鞍掛　小川　勝（養母ミカ七五）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　南塩入　寺迫慶子（夫　一郎五二）
五万円　東諏訪　和田博人（祖父　寛八八）
▽九月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

## 記事訂正とおわび

九月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

■八ページ「金山道漫歩」の記事中……
▽前から十行目
正　「とあるところに手を」
誤　「とあるところに牛を」
▽さし絵の説明文
正　瓊瓊杵尊の降臨（想像図）
誤　天照大神の降臨（想像図）

## 無料人権法律相談

鹿児島地方法務局・加治木支局のほか、次の人権擁護委員が、自宅でも相談に応じています。

お気軽に御相談ください。秘密は固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七―二B―十四
（☎　六三―三七八七）
中摩多美子　反土二七五六
（☎　六二―二七六八）
岡山秀樹
錦江町二五三番地二
（☎　六三―二八七八）